

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

4-IV-13

4-IV-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	地元の食の発信
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	13 佐渡の食の発信	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農業政策課、佐渡連合商工会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地元食材による伝統的な食事のPRや新たなメニュー開発による取組等で、来訪者に地元の食の魅力を発信する。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡の食の魅力発信に向けた関係機関による検討会議を設置し、訴求力のあるメニュー開発等を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡ならではの食材や料理をPRし、来訪者の消費額増につなげる。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「佐渡冬紀行」を造成販売した。 ○ 相川地区の飲食店有志により「金」や「金銀山の遺跡」をイメージできるメニューを開発した。G級グルメ・スイーツと命名し提供を図るとともにメニューを紹介するパンフレットを作成した。 ○ 総合パンフレット「佐渡さんぽ」、新たな観光コンテンツを特集した「Discovery SADO」を発行し、伝統料理や郷土料理のほか若者向けの飲食店や食べ物を紹介した。 ○ TV、雑誌等の取材で佐渡の食をPRした。 ○ みなとオアシス事業として、オイスターフェアを開催した。 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬季旅行商品「佐渡美食三昧」を造成し、冬の佐渡の魅力的な食材をPRすると共に食事に郷土料理の提供を必須とすることで佐渡の食に対する魅力度向上を図る。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬季旅行商品「佐渡美食三昧」を造成した。 ● 新たな取り組みとして昼食券もセットにし、利用者の満足度向上を図った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ シーズンに応じた旬の食材の通年ベースでの情報提供が完全ではない。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 来訪時期に応じた的確な情報発信を実施する。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 開発したメニューの提供体制について検討が必要。 [A (B) C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。